

出雲地区

保護司会だより

第10号



安全で安心なまちづくりを目指して

島根県知事 溝口 善兵衛

出雲地区保護司会の皆様には、犯罪のない明るい社会を築くため、罪を犯した人たちの立ち直り援助をはじめ「社会を明るくする運動」の取り組みなど、様々な活動に献身的に尽力を賜っておりますことに深く敬意を表しますとともに、心から感謝申し上げます。

島根における犯罪の発生状況について見ますと、本年の犯罪の発生件数は、昨年と比べ減少傾向にある一方、振り込め詐欺の被害件数、被害額は増加し、特に、還付金詐欺が大幅に増加するなど、憂慮すべき状況にあります。

犯罪が発生する要因としましては、核家族化や少子高齢化、社会の匿名化など急激な社会情勢の変化に伴い、地域社会が本来有していた犯罪抑止力が低下していることが指摘されています。

島根県では、平成一八年に「島根県犯罪のない安全で安心なまちづくり条例」を設け、安全で安心なまちづくりを推進するための体制整備や基本計画の策定、ボランティアの方との連携によって、地域社会と一体となって取り組んでいるところです。

保護司の皆様は、罪を犯した人たちが過ちを繰り返すことのないよう、受刑者の帰住先の調整を行うほか、罪を犯した人の立ち直り支援などの活動に取り組まれているところですが、こうした皆様の活動は、「安全で安心なまちづくり」の一翼を担い、地域社会の犯罪抑止力の維持、向上に大いに貢献されているものがあります。

ところで、十月一日には、浜田市旭町に官民協働で運営される「島根あさひ社会復帰センター」が開所しました。

ここは、中国地方で初めてとなる盲導犬訓練施設「島根あさひ盲導犬訓練センター」が併設されており、盲導犬の育成を通じて、受刑者が社会復帰を果たすための支援を行っています。

このような取組みによって、罪を犯した人たちが生命の尊さや社会に貢献する喜びを感じることは、犯罪行動の再発を防止するだけでなく、今後、地域社会に帰住し、生活する上でも非常に重要なことであり、大きな期待が寄せられているところです。

今後も、保護司の皆様をはじめ、関係機関の皆様とこれまで以上に連携し、「安全で安心なまちづくり」の実現に向け、全力で取り組んで参ります。出雲地区保護司会の皆様には、格別の御協力を賜りますようお願いいたします。

平成二十一年度

「社会を明るくする運動」 作文コンテスト

出雲地区保護司会では「社会を明るくする運動」島根県実施委員会が実施する、「社会を明るくする運動」作文コンテストに協力し、出雲市内及び斐川町内の各小・中学校五十五校に参加を呼びかけました。

これは、次代を担う全国の小・中学生の皆さんに、日常の家庭生活、学校生活の中で体験したことを基に、犯罪や非行などに関して考えたことや感じたことを作文に書くことを通じて、社会を明るくする運動に対する理解を深めてもらうことを目的としています。

出雲地区では、小学校十一校から四十一校、中学校九校から四十校の応募がありました。

第一次審査として小・中学校別に
出雲地区保護司会で審査を行い、それぞれ五点を島根県実施委員会に送付いたしました。

島根県実施委員会では、県内各保護司会から推薦のあった小学生八十三名、中学生三十三名について審査された結果、出雲地区から応募した作品が多数入選しました。

また、小学生の部の入選作品のうち三原大樹さん、平田海帆さんの作文二点については、全国の実施委員会に推薦されることとなりました。応募いただいた皆様やご指導いただきました先生方に、誌上を借りて厚くお礼申し上げます。

島根県実施委員会の審査結果は次のとおりです。

小学生の部

【優秀賞】

島根県保護司会連合会長賞

「ゴミ拾い」

中部小学校六年 三原大樹

更生保護法人島根保護観察協会
理事長賞
「つながりを持って」
塩津小学校六年 平田海帆

島根県更生保護女性連盟会長賞
「私の大好きな言葉たち」
四絡小学校六年 日下穂南

島根県BBS連盟会長賞

「人それぞれ違うことの素晴らしさ」
高松小学校六年 渡邊拓己

山陰中央新報社賞

「車イス」

中部小学校六年 勝部未咲

中学生の部

【優秀賞】

島根県更生保護女性連盟会長賞

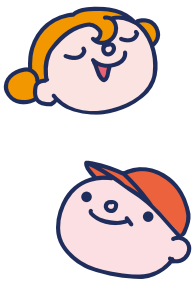
「当たり前」なこと

斐川東中学校一年 古川真実

島根県BBS連盟会長賞

「みんなで出る杭に」

浜山中学校一年 日下紗也子



「ゴミ拾い」

中部小学校六年

三原大樹

ある日の学校からの帰り道のこと。友達と長話をしながら帰っていた。そのとき、ふと石をかけた。その石の行く先を見ていたら……。自動販売機の横に、空きカンが一つおちていたのが目に入った。

初めは、何とも思わなかった。でも、そこを過ぎてしばらくしてから、カンのことを思い出した。なかなか忘れられなかった。

「今は一つだけ、あのままにしていたら、みんなが置いていくのではないかな。」

こんなふうなことも思っていた。ぼくは、思わず友達をその場に残留して、さっきの自動販売機のところへかけもどった。やっぱり、カンはそのまま。ぼくは、そのカンを拾って持って帰った。

そのとき、置いて来たはずの友達が見ているのに気付いた。「だって、「ゴミを拾わないと、「ゴミがどんどんたまって、あふれてしまうかもしれないからね。」

ぼくは、なぜかはすかしくて、そ

言わなかった。

は別れた。

こんな言葉をよく聞かされて、こ

んなことを言って笑った。

その日から、この友達二人とも、

次の日も休みだったので、また公

の言葉が本当たというところを、ぼく

ぼくは、カンを家に持ち帰り、コ

空きカンを落ちていたら、必ず拾っ

園に行くこと…。何と昨日いっしょに

は体験で知った。

ミ箱に捨てた。さっきのはすかさ

て持ってかえるようになった。もち

でも、これで終わってはいけない。

ゴミを捨てる人がいれば、勇気を出

は消え、

ろん、ぼくも。

それを捨てた。道にゴミが落ちて

いたら必ず拾おう。そしてみんなに

「ああ、ぼくはいいことをしたん

でぼくは、

そのおかげで、三十分もすると、公

園のゴミはなくなった。

だ。」

それから何日かたったある日。別

その日から、この公園に落ちてい

るゴミはどんどん減っていった。気

と思い、心からいい気持ちになった。

の友達と公園で遊んでいると、周り

付いた人だれもが拾ってくれるよう

になった。また、みんながゴミを捨

そしてまたおちている空きカンを見

た。そんな声が聞こえてきた。そ

こでも、ぼくは、

「ゴミを拾ってから遊ぼうよ。」

つけたら、進んで拾おうという意欲

と、みんなに言った。でも、みんな

は納得してくれない。めんどうだ、

きたないからいやだ、手をけがする

もわいてきた。

かでも、ぼくは、

「でも、ぼくは、

こでも、ぼくは、

「ここには空きカンがあった。

「でも、ぼくは、

「でも、ぼくは、

「でも、ぼくは、

「すっぴいな、よく進んで拾って、持

ち歩く勇氣あるな。」

「すっぴいな、よく進んで拾って、持

ち歩く勇氣あるな。」

その日、いっしょだった友達の口

から、こんな言葉が自然に出てきた。

「すっぴいな、よく進んで拾って、持

ち歩く勇氣あるな。」

もちろん、この人は昨日のことは知

らない。

「すっぴいな、よく進んで拾って、持

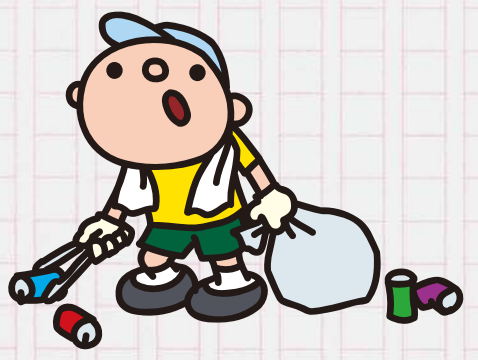
ち歩く勇氣あるな。」

「最初に、空きカンを捨てたのはぼ

くだよ。」と言いたくなかったけれど、

別によけいなことは言いたくなかつ

たし、このことを言つと、自まんす



平成二十年度「社会を明るくする運動」

標語入選作品

出雲地区保護司会では、「犯罪のない明るい街づくり」「青少年の非行防止」がアピール出来る標語を、一般の部、小・中学生の部として募集しました。

一般の部では、出雲市・斐川町にお住まいの方々から総数二百六十余点の応募がありました。

また斐川町では昨年に続き町内の小・中学生に「社会を明るくする運動」の一環として呼びかけをしましたところ、小学生二百十二点、中学生五十五点の応募がありました。

なお、出雲市内の小・中学生には例年のとおり出雲市青少年育成協議会と共催で募集しました。小学生九百八十一人、中学生五百六十一人の応募がありました。

それぞれに慎重に審査した結果、左記のとおり決定しましたのでお知らせいたします。

【一般の部】

最優秀賞

挨拶と

笑顔の町に 非行なし

大津町 石橋 律子

優秀賞

挨拶で

心が和む 地域の輪

湖陵町 春日ノブ子

通い合う

家族の絆に 非行なし

古志町 小玉 幸枝

● 伸びる芽に

寄り添う愛と 家族の絆

佐田町 田部 時夫

● 支えあう

心が築く 明るい社会

大社町 堀江 康正

● あいさつは

心と心に 架ける橋

大津町 矢野 勲

佳作

● 子は宝 躰と教育 万全に

湖陵町 石飛 順子

● 「おはよう」と

交わす挨拶 心をつなぐ

大社町 石飛由紀子

● 親と子の

生かそう会話の ごはん時

平田町 磯崎 又司

● 見逃すな

あなたのまわりの 非行の芽

湖陵町 打田 薫

● ほっとした

「ありがとう」の 一言で

斐川町 大森 咲希

● ありがとう

子どもに教わる 素直な心

斐川町 大森 真弓

● 思いやる

心にやさしい 花が咲く

小山町 小玉 満江

● 挨拶は

心の窓を 開ける鍵

天神町 周藤 千雪

● 温かい

家庭で築く 地域の輪

岡田町 長岡アサ子

● きびしさに

耐え抜く力を 育もう

上塩治町 宮本 明子

【出雲市 小学生の部】

最優秀賞

かえりみち

「おかえりなさい」 うれしいな

灘分小学校二年 黒目 尚志

優秀賞

● できること

えがおあいさつ 思いやり

灘分小学校四年 河村 夏洗

● だめだよと

いえるゆうきを もてるかな

長浜小学校二年 日野あすか

【出雲市 中学生の部】

最優秀賞

● メールより

言葉で伝える ほんとの気持

第三中学校二年 吉田 剛

優秀賞

● やめようよ

悪いことだと 分かるなら

第三中学校一年 安田 早希

● 「じめんなさい」

言える勇気の 大切さ

第三中学校三年 三原 華英

【斐川町 小学生の部】

最優秀賞

「だんだん」と

言われて今日も 笑顔です

莊原小学校六年 飯塚 詩乃

優秀賞

● 私はやめた

差別もイジメも 悪口も

西野小学校四年 菖蒲奈津美

● いけないよ

言える一言 勇気の心

西野小学校五年 吾郷 翔哉

● ちゃんと見て！

自分の子も よその子も

莊原小学校五年 飯塚 亜海

● 「やめようよ」

言える勇気 出し合おう

中部小学校六年 浜屋 貴斗

● だいじようぶ？

ちょっと待って そのメール

出東小学校五年 日野 双葉

【斐川町 中学生の部】

最優秀賞

● 頑張れよ

その一言で 強くなる

西中学校二年 永見 凌汰

優秀賞

● 誰一人

なくしちゃいけない その笑顔

東中学校三年 須田 貴裕

● 優しさが

みんなの笑顔をつくる鍵

東中学校三年 錦織安里加

● 信じ合う 心と心の

交差点

● 一人じゃない

君の周りに 友がいる

西中学校一年 羽根田 陸

● 差し伸べて

苦しむ友に 救いの手

西中学校一年 安井 愛

塀のない刑務所

出雲地区保護司会研修部

梅雨明け前の七月十五日、出雲地区保護司会では、「しまなみ海道」を通り四国の松山刑務所大井造船作業所を見学した。海と川に囲まれた環境の、造船所の奥まった所にある開放的な施設である。

昭和三十六年来島どつく社長故坪内壽夫氏の、受刑者の更生に対する熱意と奉仕の精神のもとに全面的な援助により開設された。建物は五階建てで古いが掃除が行き届いてとても綺麗であった。現在二十一人が収容されている。

「塀のない刑務所」としてテレビで紹介されたこの施設の特徴は、寮舎に施設も鉄格子もなく、受刑者を作業員と呼称し、作業員自らの運営による自治会組織によって生活管理がなされていること、また厳しい職業訓練によって高い技術の修得が可能で、国家資格が取得できることである。



会復帰に役立つ高度な技術の修得に主眼が置かれていて、再犯率は九%です。」と所長が話された。国家資格は移動式クレーン運転士、ガス・電気溶接、玉掛技能士などである。新人が入所すると、「預り」と称する先輩作業員が付き添い、細かいところまで指導するので作業員が戸惑うことなく生活に慣れていけると説明があった。罪の償いには、懺悔して自分を一步でも前に進ませたいという作業員の心情を話された。

また寮舎の階段には刑事施設視察委員会名の「提案箱」が置かれ、改善すべきことなど投書できるようになっている。作業員の人権尊重が伺えた。

「この施設へ入所を希望する者は多いが厳しい審査があり、入所はかなり難しいようです。」と話されたのは、仕事一般人と同じ場所での作業があるからと思われた。そのことは指導監督する職員にも厳しさが要求されることもある。

今回の見学を通して、職員の方々の管理や指導、加えて造船所の方々、地域の皆さんの温かい支援の中で作業員の人格が尊重されていることを強く感じ、また、作業員の一日も早い更生と社会復帰を念じて研修を終えた。

協理事業主 という社会貢献、してみませんか

なぜ

犯罪や非行をした人に就労の支援をするのか…不思議に思われるかもしれません。

犯罪や非行をした人を排除するばかりでは、安全・安心な社会を実現することはできません。これらの人たちが社会に帰ってきたとき、その更生の決意を支え、立ち直れるよう援助し、健全な社会の一員にすることが必要です。

特に職に就き、責任のある社会生活を営むことは、立ち直りに向けた大きなはじめの一步になるのです。

就労に向けて

刑務所や少年院等では、職業訓練・補導を通じて、就労に必要な能力や態度を培います。

保護観察所では、保護司など民間ボランティアとともに、社会生活に適應するための指導や助言を行っています。

また身元保証システムの窓口となります。

協理事業主Q&A

Q1 協理事業主の登録制度とはどんなものですか。

A1 協理事業主の事業内容や雇用条件等について保護観察所に登録いただき、保護観察所と公共職業安定所がその情報を共有して、犯罪や非行をした人の就職を円滑に進めようとするものです。

Q2 パート・アルバイトや派遣社員のみの人でも、協理事業主として登録できますか。

A2 ぜひ登録をお願いします。刑務所出所者等の中には、まずアルバイトから…と考える人もいます。もちろん、刑務所出所者等の生活が安定したものになるという観点からは、正社員で雇用していただくのが望ましいです。

Q3 どこに問い合わせればいいですか。

A3 出雲地区保護司会に先ずご連絡下さい。

お知らせ

更生保護功労により、平成二十一年中に受章されました皆様です。
(敬称略)

法務大臣表彰

長永禪教・手銭昇三

全国保護司連盟会長表彰

成相教専

中国地方更生保護委員会

委員長表彰

古瀬光治・渡部卓史

川上清子・木村 崇

岸 幸子

中国地方保護司連盟会長表彰

川上 誠・常松秀紀

森山正洲・和田昭男

松江保護観察所長表彰

園山恵子・野津雅史

和田智恵美

島根県保護司会連合会長表彰

鈴木二郎・園山久美子

土江松子・錦田隆福

原 洋子・藤森麗子

三成歳子

保護司の異動

◎退任

板倉 秀治(古志町)

(平成二十一年八月三十一日)

◎新任

鐘築 伸正(武志町)

神田修一郎(松寄下町)

妹尾 邦昭(下横町)

藤田 努(中野美保南)

(平成二十一年十二月一日)

編集後記

巻頭言に、更正保護法人島根保護観察協会理事長であります溝口善兵衛島根県知事様に執筆をお願いし、快諾頂き掲載させていただきました。

第十号は六ページの広報誌を編集しました。平成二十年度「社会を明るくする運動」作文コンテストの優秀作文と強調月間にあわせて、市民の全てのみな様にご理解いただけるようにとの目的で標語を募集しました。多くの作品の中から入選作品を掲載させていただきました。

みな様からのご意見、ご批評、ご支援をお願い致します。

(柳楽利子)